

つむぎ通信

vol.10

在宅連携センター「つむぎ」

TEL/053-451-2807 FAX/053-451-2808

✉soudan@hamamatsucity-medical-co.jp

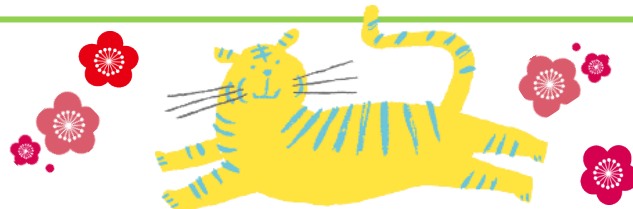
在宅連携センターつむぎ浜松

検索

在宅連携センターつむぎは、高齢者を支える医療・介護・福祉関係者の相談窓口として、2015年度に開設しました。「つむぎ通信」は2019年度から在宅連携センターつむぎの周知と情報発信のため発行しています。バックナンバーは[ホームページ](#)からご覧ください。→



明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願いたします



つむぎは開設から今年で7年目を迎えます。

昨年は、まだまだCOVID-19の影響が強く、行動に制限のある大変な1年でした。しかし、その中でもWebが普及し、遠い地域の研修会や会議へも参加することができました。

つむぎへの相談では、支援者の方が大変な思いを抱えながら支えている姿に接します。障がい分野の支援者の方と一緒に考えていくケースも増えています。経済的な問題を抱えているケースも多いです。医療・介護の支援者をはじめ、他分野の方と協力し合う大切さをますます感じています。

今年は皆様方と直接お会いできる機会が増えることを期待しています!!

今後もよろしくお願いたします。



いろいろな使い方が可能な「老健（介護老人保健施設）」

つむぎで入所先としてご紹介することが多い「老健」。正式名称は介護老人保健施設。介護保険法に基づく在宅支援施設です。



★施設の特徴は？★

- 在宅への復帰を目指して機能訓練などが受けられる施設。
- 施設入所サービスの他に、短期入所療養介護（ショートステイ）、通所リハビリテーション（デイケア）の機能を持ち在宅生活を支える。
- 常勤の管理医師・看護職員が配置され、病院と自宅の間のような施設。
- 症状が安定していれば、医療行為がある方も入所を検討できる。
(経管栄養、インスリン...)

★利用対象者★

- ・介護保険要介護1～5の認定を受けている。
- ・病状が安定していて入院治療の必要がない。
- ・リハビリテーションを必要としている。

★「入所」では、いろいろな使い方が可能です★

- 病院から自宅退院予定だが、まだ自信がない。もう少しリハビリテーションして自宅に戻りたい。
- 在宅生活をしているが、ADLが落ちてしまった。短期集中的にリハビリテーションを行いたい。
- 活動量が減る暑さ寒さの厳しい時期に、ADLが低下しないよう集中的リハビリテーションを行いたい。

浜松市内には、現在25か所（2021年12月1日現在）の介護老人保健施設があります。長期入所施設と思われがちですが、実は在宅生活を支えてくれる強い味方です。つむぎでは市内の施設にアンケートを行っています。基本的なことから具体的な活用方法まで、お気軽につむぎまでご相談ください。



相談事例Q&A～相談内容を紹介します～

Q：80代女性、精神疾患単科の病院へ入院中。病状は落ち着いたが、嚥下機能に問題があり、在宅に戻る前に嚥下訓練をしたほうがよさそう。適切な施設を紹介して欲しい。（病院相談員）

⇒A：介護老人保健施設で在宅復帰のためのリハビリテーションを受ける必要性を感じ、言語聴覚士が在籍する施設を紹介した。

Q：介護老人保健施設に入所の問い合わせをしたが、5か所とも断られてしまった。どこか入所可能な施設はあるか。（ケアマネジャー）

⇒A：介護保険を使って入所する施設は、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院の3つがある。薬や医療行為の内容によって、各施設で受けられる対象者が変わる。介護老人保健施設では受け入れできない医療行為があったため、介護医療院の情報提供をした。

Q：入院患者の家族から、退院後の施設について相談があった。今後の対応について相談したい。（ケアマネジャー）

⇒A：入院先の退院支援相談員が対応していると思われる。「入院している病院の相談室へ相談するといいですよ」と家族に助言することを提案した。

在宅医との意見交換会を開催しました

つむぎでは、年に1回、浜松市内5つの医師会で在宅医療に携わる医師間の情報共有と連携のため、意見交換会を開催しています。

今年度は11月8日に浜松市役所で開催し「コロナ禍における在宅医療・介護連携の現状と課題」をテーマとし、新型コロナウイルスのワクチン接種の状況や施設等で新型コロナウイルスの陽性者が確認された時の対応、及び各医師会での活動状況等について意見交換を行いました。



水崎 和子 / 保健師

- 趣味 読書
- お勧めパワースポット 小國神社
- コロナが収束したらやりたいこと
家族や友人と温泉旅行
- 最後の晩餐何食べる お寿司!!
- 一言

浜松医療センターの外来部門で20数年前に訪問看護に携わり、ケアマネジャーの資格を取り、母を在宅で看取り...と、在宅医療・介護とは深い縁を感じています。思えば保健師になったのも「最期まで家で過ごす」ことへの興味があったからでした。

今後も在宅医療・介護の支援者の身近な相談窓口であるよう努めたいと思っています。



つむぎ
メンバー紹介

高井 智生 / 事務員

- 血液型 A型
- 家族構成 父、母、妻、娘、息子
- 趣味 映画鑑賞
- 行きたい国 カンボジア
- お勧めパワースポット 元城町東照宮
- 好きな言葉

Believe that the sun will shine tomorrow.
(明日は晴れると信じよう)

- 一言
今後も少しでも役立つ社会資源を皆様に情報提供できるよう取り組んでまいります。